

特集

学生サポートセンター活動

CONTENTS

HOME

学生支援GPとは

取組のコンセプト

現在の取組

これからの取組

キャリアデザイン・カルテとは

自分発見プログラムの導入実績

自分発見ノートの活用

海外インターンシップ

学生支援フォーラム

学生サポートセンター活動

総括

お問合せ



学生サポートセンターでは、学生と大学をつなぐパイプ役としてさまざまな学生支援活動を行っています。キリスト教センターの主事であり学生サポートセンターの責任者でもある福井智さんに、同センターの役割や活動内容、活動の目的などを伺い、実際に活動に参加した学生の感想などを聞いてみました。

○ 第1回 教職員インタビュー キリスト教センター 主事 福井智さん (2010年12月22日UP)

○ 第2回 学生インタビュー 外国語学部英米語学科1年 トーンチャイムサークル主幹 海口 翼さん (2010年12月29日UP)

○ 第3回 学生インタビュー 外国語学部国際文化協力学科1年 古田つぐみさん (2011年1月5日UP)

第1回 教職員インタビュー キリスト教センター 主事 福井智さん

学生サポートセンターについて教えてください。

学生サポートセンターは、キリスト教センターが展開している機関です。学生と大学をつなぐ相談窓口としての活動をメインに、学生に対するさまざまなサポート活動を行っています。

学生サポートセンターには、年間延べ70～80名ほどの学生が相談に訪れます。相談内容は人間関係の悩みから学業の悩みまで多岐にわたるため、まずは牧師である私がスピリチュアルな観点から相談を受け、より専門的な対応が必要だと判断した場合には学生相談室や教員などに連携しています。

また、2007年からは学生支援プログラムGPの活動として、宗教講演会や音楽演奏会といった催しにも取り組んでいます。その活動の一環として、OCS(キャンパス・コミュニケーション・システム)を通じて トーンチャイム(※)を演奏するメンバーを募ったところ、8名の学生が集まり、トーンチャイムサークルとして認可されました。現在は12月21日(火)に行うクリスマス礼拝での演奏会に向けて、サークル所属の学生たちと共に猛練習に勤めているところです。



トーンチャイムサークルの活動の目的は何ですか。

一番大きな目的は、学生同士の交流です。トーンチャイムは一人で演奏する楽器ではありませんから、みんなで演奏することで、仲間との交流とはどういふものかを体験してもらいたいと考えたのです。

また、これまで交流のなかった仲間と触れあうことで新たな刺激や発見があり、自分自身を見つめ直す機会になるのではないかと思います。さらに、トーンチャイムを通じて音楽的な能力や可能性を見出すことも期待できます。仲間と一緒に楽器を演奏しながら何かを感じ取り、人として成長してもらいたいという思いがありました。

クリスマス礼拝演奏会に向けての意気込みをお聞かせください。

トーンチャイムの演奏会を行うのは、名古屋学院大学の歴史はじめて以来はじめてのことですので、大学にとっても、演奏する学生にとっても記念すべき日になると思います。練習日が毎週木曜日の4時間目と決まっている中で、それぞれの学生が時間を調整し、メンバーがお互いを思いやりながら練習を続けてきました。もともと違う個性を持つ人同士ですから、かみ合わない部分があるのは当然です。でも、学生たちは楽器の音を合わせるように、仲間との関係を調律しながら人の和も技術も高めてきました。クリスマス礼拝では、その成果を存分に発揮できればと思っています。



美しいチャペルに響きわたるトーンチャイムの清らかな音色は素晴らしいものです。学生はもちろん、一般の方もぜひクリスマス礼拝にご参加いただき、演奏を楽しんでいただければと思います。

※トーンチャイムとは…アルミ製のパイプを叩いて音を鳴らすハンドベルに似た楽器。クワイアチャイムとも呼ばれる。柔らかく透き通るような音色が特徴。

>> 第2回 学生インタビュー 外国語学部英米語学科1年 トーンチャイムサークル主幹 海口 翼さん (2010年12月29日UP)

<< 開催報告一覧に戻る

このページのトップへ

